

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)					区分	
1	「さいたま土曜チャレンジスクール」推進事業(事務局運営事業(教育総務課))				新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管		
一般会計	10	1	2	教育委員会事務局 管理部 教育総務課		
事務事業の位置付け						
しあわせ倍増プラン2009	番号	21	事業名	さいたま土曜チャレンジスクール推進事業		
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名			
根拠法令等						
予算要求事業の概要						
内容	土曜日等に小・中・高等学校の教室等を利用し、児童生徒の自主的な学習(補習・ものづくりなど)をサポートします。 運営については、平成20年度から順次配置している学校地域連携コーディネーターが窓口となり、地域の方々に協力をいただきながら、地域のボランティアで構成される実行委員会の立ち上げを推進していきます。また、「放課後子ども教室」と連携して推進していきます(実行委員会を一本化し、効率化を図ります)。					
目的・目標	<p><目的> 児童生徒に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上を図ります。</p> <p><目標(平成24年度末)> 平成24年度末までに、すべての市立小・中・高等学校で実施します。</p>					
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 一部の学校の独自の取り組みにより、土曜日や夏休みに補習授業・ものづくり・体験活動等を実施しています。</p> <p><課題> 1 運営に係るボランティアの確保 2 安全管理の徹底 3 「放課後子ども教室」との一体的な整備</p>					
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度 新規実施 20校(累計30校) 平成23年度 新規実施 50校(累計80校) 平成24年度 新規実施 83校(累計163校) 					

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	23,460 <積算内訳> 1 さいたま土曜チャレンジスクール推進事業の実施 23,460 (1)さいたま土曜チャレンジスクール運営に関する経費
	財源内訳	<要求理由> さいたま土曜チャレンジスクールを実施するために必要な経費を要求するものです。 国庫支出金 7,819 一般財源 15,641
	財政局長査定	7,875 <査定内容> 1 さいたま土曜チャレンジスクール推進事業の実施 7,875 (1)さいたま土曜チャレンジスクール運営に関する経費
	財源内訳	<査定理由> 運営経費について、内容が類似する放課後子ども教室の実績を参考にして精査しました。 国庫支出金 2,625 一般財源 5,250
	市長査定	7,875 <査定内容> 同上
	財源内訳	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。 国庫支出金 2,625 一般財源 5,250